

## 2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 1 月 30 日作成)

小委員会名	構造ヘルスマニタリング小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 振動運営委員会	主 査 名：渡壁守正 就任年月：2006 年 4 月 委員長名：和田 章 主 査 名：三浦賢治
設 置 期 間	2006 年 4 月 ~ 2010 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本小委員会は、前年度までの研究成果を踏まえて、建築分野における構造ヘルスマニタリング (SHM) の在り方として、如何なるモニタリングをなすべきかを具現化するための調査・研究を行う。</p> <p>初年度：SHM の現状調査と認知度を高めるための方策について議論 2 年度：SHM の定義・目的と効果・現状に関する啓蒙資料作成 3 年度：SHM を推進するための動機付けを示せる資料を作成 4 年度：関係各位の意見をフィードバックするためのシンポジウム or PD を開催</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 渡壁守正 (戸田) 中村充 (大林) 吉元怜毅 (三菱総研) 三田彰 (慶大) 岡田成幸 (名工大) 薛松濤 (近畿大) 佐藤貢一 (大成) 西村功 (武蔵工大) 平田京子 (日女大) 森田高市 (建研) 風間宏樹 (日建設計) 川合廣樹 (ABS) 酒向裕司 (鹿島) 斎藤知生 (清水)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2006 年度予算	125,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	1. PD：建築物の地震時挙動を知るために 建築物における強震観測の意義 『構造部門 (振動) パネルディスカッション資料：同上』 参加者数 285 名 (強震観測小委員会に協力)
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 学術的な面の研究は目標どおり。 2. SHM を推進するために必要な枠組みの問題点をあきらかにした。
委員会活動の問題点・課題	SHM の普及を図るためには、モニタリングと性能表示の在り方や定量的評価指標など具体的な内容にまで至るシナリオ作りが必要になる。委員メンバー間でセンサーシステムのプロトタイプにより試験利用の試みも考えられるが、システム構築運用となると様々な問題がある。